

令和6年第4回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議録

令和6年第4回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、令和6年9月30日、13時15分、小野農民研修センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 会議録の承認

3 教育長報告

4 その他

その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

5 校長報告

6 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤羽	高志
教育長職務代理者	両角	東平
委員	小澤	晃
委員	小松	恵美
委員	竹澤	克彦

○ 説明のため出席した者

両小野中学校長	富田	章
こども教育部長	百瀬	一典
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹中	康成

○ 事務局職員出席者

学校教育課長	上條	崇
教育施設課長	五味	克敏
学校教育課課長補佐 (児童生徒支援係長)	小松	義宏
学校教育課課長補佐 (教育企画係長)	佐藤	智樹
学校教育課学校運営係長	高山	和都

○ 本日の会議に付した議事

会議日程に記載のとおり

1 開 会

赤羽教育長 皆さんこんにちは。本日は御多忙のところ、御出席いただきまして誠にありがとうございます。これより令和6年第4回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会を開会いたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 それでは、2番、会議録の承認について事務局からお願いします。

瀧沢学校教育課教育企画係 前々回第2回教育委員会及び前回第3回教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 続いて3番、教育長報告に入ります。私からは2点報告いたします。

1点目です。秋の全国交通安全運動についてですが、9月21日から始まって30日、本日まで行われております。朝の登校風景をいつも車中で見たり、車から降りて見たりして来るわけですが、交通ルールを遵守して、落ち着いて歩いて来る児童、自転車通学の生徒もいます。その子たちの姿、そして子どもたちの姿を見守ってくださる地域の皆様、そして先生方の姿がありました。

塩尻市定例教育委員会でこのお話をしたところ、小学生でノーヘルの子がいるよというお話も具体的にお聞きしたので、気を抜いてはいけないと、常に声かけとかしていくことが大事なのかなということを感じました。

塩尻市では、9月18日の夕方ですが、交通安全標語コンクール表彰が市役所の庁議室で行われました。最優秀賞、優秀賞を受賞した5名の6年生と保護者が集まりました。毎年6年生対象にやっています。今年度の小学6年生の応募総数が397人ということで、全体の8割の子が応募しました。今年度から、先ほどから端末の話が出ていますが、個々に子どもが、自分の端末から市役所の建設部の都市計画課に自由応募していました。

作品を見ていますと、とてもふだん自分では感じないような中身の標語が幾つもありました。恐らく小学生たちは検索したりしながら、自分で知識を勝ち取ってやっているのかなということを最終選考まで私も携わったのですが、感じたところであります。

今年度、最優秀賞1点と優秀賞4点を紹介いたします。最優秀賞「止まってくれてありがとう 長野県 停止度NO. 1」。優秀賞4点です。「反射板 命を守る 一つの光」「ヘルメット『すこしの距離』でも 着用を 行動一つで 守れた命」「周り見て スマホじゃな

いよ 赤信号」「確認して守ろう 交通安全の『ま』『み』『む』『め』『も』」という作品であります。

最後に、塩尻警察署の神林署長からは、「今日、みんなの発表は、またいつもと違う標語の中身だった。実は、塩尻署管内の交通事故は県内でもとても発生率が高い。それはとても困っている」ということを話され、そこで「みんなが考えてくれたこの交通安全標語と出会って、交通安全についてしっかりと考えていってほしい」と、子どもたちの作品を高く評価してくださいました。

2点目です。両小野中学校では、第71回霧訪祭が9月28日土曜日に開催され、百瀬敬塩尻市長、教育委員、両小野地区の議員方と共にステージ発表から参加させていただきました。また、保護者、祖父母、兄弟・姉妹など、地域の方も多数参加して、さすがこの地区だなということを私は感じました。

生徒会長の赤井さんは、文化祭のパンフレットで「生徒だけでなく、先生方や地域の方々も笑顔があふれ、思い出に残る霧訪祭にしましょう」と呼びかけていました。

ステージ発表ですが、意見文発表では、3名の生徒が発表しました。

2年の河西さんは、「学校に昼寝を」と題して、「短い睡眠を学校で取り入れることにより、認知能力とか集中力が高まることにつながる」と。デメリットも説明した後、「たった10分間の睡眠で得られるメリットが大きいから取り入れるべきだ」と、そういう発表しました。私になるほどとうなずきました。

続いて、1年の唐木さんは「おぱんちゅうさぎについて」と。そこから全然分らないのですが、それでも、「おぱんちゅうさぎというのは、頑張っても報われないさぎで、しかも深刻ではないので、見ている人たちは思わず笑ってしまいます。今の社会はたくさんのストレスがあります。困っている人をほっといてはいけないうさぎ、かわいさとこの性格で思わず笑って、人気が高まっています。ぜひ見てください」と発表があり、私も早く家に帰って、検索して、どんなうさぎかと見させていただきました。

続いて、3年の塩原さんは「両小野地区を救うために」と題して話がありました。前半の辰野町教育委員会の宮澤教育長のお話にもありました災害について、その中身をこの生徒が発表していました。「自然災害が多数発生している。中学生に、自分たちでできることをクラスで考えてきた。実際に災害があつて自分が生き残れるか心配もある。緊急避難場所のこの両小野中学校も土砂が流れてくる可能性がある。両小野地区は災害に弱いと考える。でも、中学生にできることだってある」。このボランティア作業に出るとか。あと、「地域の方と交流を深めて、ふだんの行事にも参加して、挨拶を交わして、いざというときに支え合えることだ。ぜひみんなで行動していきましょう」と、頼もしい発表がありました。

どの発表者も、自分の思いを持って、自信を持って意見を述べている姿、とても頼もしく感じました。実は私もこの両小野小中の出身でして、意見発表をやったのですが、この3人のような発表はできなかったことを思い出しました。

続いて、吹奏楽部12名の発表がありました。暗幕を引いた体育館の中、会場は意見文発表とはまた違って一気に盛り上がりました。ソロ演奏もふんだんに織り込まれていて、私は音楽は得意ではありませんが、強弱だとかテンポだとか、選曲が本当に素晴らしいなと思って、演奏している生徒一人一人がみんな輝いて楽しんでいるなと感じました。その裏には、先生の指導の下、きっと猛練習もあつたのではないかなと考えました。部活動を通して仲間

意識が高まって、その発表の中に他校との交流もあった。幾つものコンクールに参加して発表して自信がついてきたという発表があり、そのとおりだなと思いました。

会場の生徒たち、先生方が一緒に盛り上げて、今年度のテーマが「full of Smile～みんなの笑顔あふれる霧訪祭～」が達成できたことを感じました。また最後に、富田校長先生から、別の観点からお話しいただければありがたいと思います。

また、竹澤委員、小松委員におかれましては、長きにわたりまして、子どもたちのために御尽力いただきました。誠にありがとうございました。

それでは、私からの報告は以上であります。この報告に関しまして御質問や御感想、またその他の行事等、委員それぞれ思っていることがありましたら、ここでぜひ意見ををお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。いかがでしょうか。よろしいですか。最後にまたありましたら、ぜひお願いいたします。よろしく願いします。

4 その他

○その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

赤羽教育長 それでは、4番、その他に入ります。その他第1号、塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件についてに進みたいと思います。

○議案第1号 令和5年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計歳入歳出決算認定について

赤羽教育長 初めに、決算案件の議案第1号、資料用意されていますでしょうか。令和5年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計歳入歳出決算認定について、事務局から説明をお願いします。

上條学校教育課長 それでは、議案第1号、令和5年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計歳入歳出決算認定について説明をさせていただきます。議案の2ページ目を御覧ください。

歳入決算額は、前年度対比7.6%減の1億1,467万5,091円、歳出決算額は、前年度対比10.4%減の9,046万1,278円、差引額につきましては、2,421万3,813円となっております。

続きまして、決算説明資料の2ページ目を御覧ください。年度別歳入歳出の状況につきまして、上段の表につきましては歳入の概要となっております。歳入に占める割合が最も大きいものは、一番上の分担金及び負担金で、構成市町である塩尻市及び辰野町からの負担金であり、前年度対比13.0%減の8,476万6,000円でございます。

2つ下の国庫支出金につきましては、特別支援教育就学奨励費補助金、理科教育設備整備事業補助金及び学校保健特別対策事業費補助金(繰越)で、対前年度比63.5%減の28万2,000円となっております。

次に下段の表、歳出の概要につきましては、歳出に占める割合が最も大きいものは、中段にあります教育費で、学校運営に係る全ての経費であり、前年度対比5.9%減の7,540万9,870円でございます。

その下の公債費につきましては、これまでの大規模工事等で借り入れた組合債の償還でありまして、前年度対比28.4%減の1,461万9,184円となっております。

次に、決算の詳細につきましては、この厚い一般会計歳入歳出決算書にて説明をさせていただきます。科目の順に沿って、主なものについて説明させていただきます。まず、決算書

の6ページ、7ページを御覧ください。初めに、歳入について御説明させていただきます。

1款分担金及び負担金につきましては、7ページ右側備考欄に記載のとおり、塩尻市、辰野町それぞれの負担金でございます。内訳は、塩尻市が5,353万6,000円、辰野町が3,123万円でございます。塩尻市分には、管理市に交付されます交付税相当分とアントレプレナー学習分が加算されております。小中一貫分は2分の1ずつ、生徒割分につきましては、在籍する人数による案分となっております。

続きまして、3款国庫支出金につきましては、毎年交付されます特別支援教育就学奨励費及び理科教育設備整備事業の国庫補助金のほか、学校保健特別対策事業費補助金（繰越）としまして、新型コロナウイルス感染症対策として購入した消耗品費等に係る国庫補助金でございます。

続きまして、4款県支出金につきましては、部活動指導員任用事業補助金で、部活動顧問の教員に代わりまして、練習の指導や大会の引率など、生徒たちを指導する部活動指導員1名分の報酬に係る補助金でございます。

8ページ、9ページを御覧ください。7款諸収入につきましては、雑入のうち、一番大きいものは、平成25年度から公会計化いたしました給食費594万円余りで、現年度分の収納率は99.41%となっております。過年度分につきましては、収納率は45.23%でございました。

続きまして、歳出の説明をさせていただきます。決算書の10ページ、11ページを御覧ください。最初の1款議会費につきましては、議員報酬等を支出したものでございます。

2款総務費は、組合の運営に係る基本的経費で、主に、正副組合長、公平委員、監査委員の報酬等の経費を支出したものでございます。

続きまして、12、13ページをお願いします。3款教育費1項教育総務費につきましては、主に教育委員の報酬など、教育委員会に係る費用や事務局の運営、学校の維持に係る費用を支出したものでございます。

一番下の2項中学校費1目学校管理費につきましては、両小野中学校の管理、運営に係る経費で、最初の白丸、中学校管理諸経費は、学力講師、支援介助員、学校司書の会計年度任用職員報酬のほか、次のページを御覧ください。15ページになりますけれども、学校管理に使用する消耗品費、燃料費、電力使用料、上下水道使用料などの光熱水費、施設整備点検などの各種検査の委託料、また、外国語指導助手配置事業委託料につきましては、民間の委託事業者からの外国語指導助手の派遣に係る経費を支出したものとなっております。

続きまして、16、17ページを御覧ください。上から2つ目の白丸、特色ある教育活動事業につきましては、決算説明資料の4ページも併せて御覧いただければと思います。学校が主体性を持って、生徒の知力、体力、想像力及び道徳心などの向上を図るため、創意工夫して実施した事業に対し、交付金を交付したものでございます。令和5年度は、小野御柱への参加やたのめ市開催など、アントレプレナー学習による地域参画、地域貢献活動などを行いました。また、両小野中学校開校70周年の記念行事をレザンホールで執り行ったほか、就労支援施設体験や犯罪被害者の会の方の講演会を開催し、命の大切さや周囲への思いやる気持ちの醸成につなげております。

次の白丸、中学校管理諸経費（繰越）につきましては、翌年度事業を前倒しして実施した事業で、新型コロナウイルス感染症流行下における学校教育活動整備に向け、換気対策とし

て、CO₂モニターや体育館用扇風機を購入いたしました。この財源につきましては、国の学校保健特別対策事業費補助金、補助率2分の1を充当しております。

続きまして、2目教育振興費の最初の白丸、教育振興諸経費につきましては、学校で使用する消耗品、図書購入等に支出したものでございます。

その下の白丸、教育振興扶助費につきましては、学校教育法に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品、給食費、校外活動費等を支給したものでございます。

その下の白丸、中学校情報教育推進費につきましては、パソコンなど、中学校に配置している情報機器等の維持管理費とICTを活用した学習活動に関する経費を支出したものでございます。

その下の白丸、小中一貫教育推進費につきましては、先ほどの決算説明資料の4ページも併せて御覧ください。平成27年4月から開始しましたコミュニティ・スクールの取組に関する経費を支出したものであり、会計年度任用職員として学校支援コーディネーターを1名配置し、学校・地域・行政等の連携を図り、中学校の特色ある教育活動を推進しました。令和5年度は、塩尻市と合同のコミュニティ・スクール市民集会を開催し、両小野学園としての活動を市民の皆様に報告するとともに、他校の取組を知る貴重な機会となっております。

その下の白丸、GIGAスクール推進事業につきましては、GIGAスクール構想の実現に向けた学習活動の一層の充実と、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を支援するため、塩尻市振興公社KADOのICT支援員を学校に派遣し、教職員や学校の状況に応じた支援を行っております。

続きまして、18、19ページを御覧ください。3目給食施設費につきましては、直営による自校方式の給食提供に係る経費で、19ページの上から2つ目の白丸、給食運営事業諸経費につきましては、主に会計年度任用職員の給食調理員報酬のほか、調理に係る燃料費、各種委託料、食材費である給食費などを支出したものでございます。なお、令和5年度の保護者負担の給食費につきましては、物価高騰分を公費負担することにより、中学生1食当たり350円に据え置き、保護者の負担軽減を図っております。

その下の4款公債費につきましては、決算説明資料の5ページを御覧ください。これまでの大規模工事などで借りました組合債の償還元金と利子を支出したものでございます。説明は以上となります。

赤羽教育長 説明ありがとうございました。それでは、この議案に対しまして、教育委員の皆様から質疑等ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

両角教育長職務代理者 要望的なことでもいいですか。この間、小学校へ行って、校長室で少しお話ししたら、校長室はまだ蛍光灯がついているのです。ここも見たら、蛍光灯です。これをLEDにすると、10分の1の電気代なのです。そういうことをみんな分かっているながら、中学の体育館も水銀灯なのです。水銀灯はすごく電気料を使うわけなので、そういうほうへの予定とか、もっと言うと、早く替えたほうが絶対に電気料を考えたときにはいいはずなのに、なぜそういうふうになっていかないのかなと思うのだけれど。理由でもあるか、あるいは予定があったら教えていただければと思います。

五味教育施設課長 LED化の関係ですがけれども、市のほうに関しましては、体育館でまだLED化していないところについては、この9月補正で実施設計を開始いたしまして、来年

度工事を何とか予算要望しているところです。両小野中学校のほうも、市の議員全員協議会で説明しましてのほうで、組合立ということで辰野町さんがいらっしゃいますので、来年度に向けて、今事前にお話しさせてもらっていますけれども、何とか同じように、スケジュール的には1年遅れでけれども、まず体育館のLED化をやりたいということ、今のところ、協議をしている段階です。

両角教育長職務代理者 協議ですか。それでは、来年替わるわけではないですね。

五味教育施設課長 来年度はまだという状況です。

両角教育長職務代理者 できるだけ早く、予算の関係だから、経費のかかることを一生懸命ずるずるしているというのはばかみたい感じがするので、ぜひ急いでやっていただきたいと思います。

赤羽教育長 ほかにはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、前向きにやっていきたいと思います。水銀灯も一回電気を消してしまうと、つけるまでにまた時間がかかるなど、不便なところもあるし、生産されないということなので。よろしくをお願いします。

それでは、次に進みたいと思います。

○議案第2号 教育委員会委員の任命について

赤羽教育長 続いて、人事案件の議案第2号、教育委員会委員の任命について、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長 それでは、こちらの議案書の4ページ目を御覧ください。議案第2号、教育委員会委員の任命についてでございます。

提案理由につきましては、教育委員会委員の任命について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意をお願いするものでございます。

概要でございますけれども、委員4人のうち、小松恵美氏及び竹澤克彦氏が、令和6年10月17日に任期満了となることに伴いまして、新たに、小幡洋美氏及び小澤秀樹氏を適任者と認め、任命しようとするものでございます。略歴書につきましては、5ページ、6ページに記載してございますので、御確認をお願いしたいと思います。説明は以上となります。

赤羽教育長 それでは、この議案に対しまして質疑等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようですので、これらの議案につきましては、本日予定されています議会へ上程されるということで御了承いただきたいと思います。それでは、次に参ります。

5 校長報告

赤羽教育長 5番、校長報告に入ります。富田校長、よろしくお願いします。

富田両小野中学校長 よろしく申し上げます。両小野中学の富田です。中学校組合の教育委員会の皆様、多くの方々に日頃より温かな御支援を賜り、深く感謝しております。

では、資料に沿って説明させていただきます。先ほど教育長からお話のあったとおり、9月28日土曜日に令和6年度の第71回霧訪祭が行われました。今回、音楽祭が学園音楽会に移行しているため、28日の1日開催となっています。多くの保護者の方々に見ていただく中で、生徒はみんなの笑顔あふれる霧訪祭になるために頑張っていました。生徒が減っていく

中で、例年どおりの文化祭を維持することは大変なことです。ですが、生徒たちが教職員の手を借りながらも、必死になって手作りの楽しさあふれる文化祭をつくってくれたと思っています。保護者の皆様、地域の皆様には本当に御支援をたくさんいただきました。深く感謝しております。

続いて、今少し触れましたけれども、両小野学園の音楽会が10月28日両小野小学校で計画されています。園小中全ての子どもたちが輝ける音楽会になるよう、今からしっかりと計画していきたいと思いますので、ぜひ足を運んでいただけるとありがたいと思います。

続いて、例年行っている6年生による中学校登校の計画に今入っています。第1次案の段階ですけれども、今年も同様に行っていきたいと思います。文化祭では小学生も作品を展示してくれて、1つの教室に彩りを添えてくれました。本当にありがたいことだと思っています。

続いて、部活動の現状と地域移行についてのページを御覧ください。本年度は、野球が県大会、吹奏楽部が県コンクールまで駒を進める活躍を見せてくれました。しかし、本校の部活は、ほとんどが合同部活動となっています。この先も生徒数が減少してく予定ですので、各部活動の存続は非常に厳しい状況です。特に運動系のチーム競技は、ほぼなくなっていくのではないかと考えています。吹奏楽部も、学校としては拠点校方式を取っていただくことが最も有効な手段だとは思っていますが、各校の思いの壁に阻まれているというのが現状です。教育委員会の指導によって導いていただけると大変ありがたいということも思っております。

学習面についてですが、本年度の学調は、県平均を上回る結果を出してくれていますが、学校全体としては、学力低下が顕著になってきています。特に1年生の学力は、教職員全体で危機感を持っています。少しでも力をつけられるように放課後学習を計画してみましたが、できるだけ参加してくれることを望みます。

地域との関わり合いにおいて、各種行事やイベントで、子どもたちがボランティア参加をしています。そこで、学校運営協議会と協力してボランティア認定制度を作成し、一定回数の活動をした生徒に対してボランティア認定証を授与することにいたしました。そこに原案を作成してありますが、ボランティアカード、学園という名前になっているのは、小学生もそのカードを持っていくと判子をついてもらえらるという仕組みにしています。

最後に、職場体験や自由参加のクラブ活動を行った写真も載せておきました。地域の方々との深い関係を深めてこられたかなと思いますし、地域の様子をよく知るという面でも、とてもよい職場体験になったのではないかと思います。最後のページには、職員も様々な研修を行っていることを報告させていただきます。

おきな草はイベントのものです。以上とさせていただきます。ありがとうございました。

赤羽教育長 校長先生、ありがとうございました。では、この中に幾つか、きっといろいろな疑問とかもあると思います。何か質問とかありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

小澤委員 先日の中学校の文化祭ですけれども、吹奏楽の後、例の恒例のルパン三世の劇が入りまして、先生方がそれぞれ扮装してやられているところを見て、皆さん、まとまって楽しんでやっておられると思って、いい企画だと思いました。本当にありがとうございました。また続けてそういうところもやっていただければ、みんなも楽しみにしているのではないかと

と思います。

それで、少し変わりますけれど、先ほどボランティア認定証というお話があったのですが、昔キャリアパスポートとかといって、塩尻でやっているものがありますね。何かそれとは関係してくるのですか。

富田両小野中学校長 両小野中学校には、いろいろな行事にうとうくんに出てもらいたいとか、小学校の運動会にうとうくんが行ったりしていますし、地域の祭りにも、子どもたちが積極的に参加を要請されています。子どもたちも再来月の、例えば土真ん中ウォークにもボランティアとして参加をしますが、キャリアパスポートとは別にして、学校にボランティアの依頼があったことに対して、ボランティアで出ていくということになります。だから、学校はボランティアに来ていただくことの代わりに、地域にボランティア活動に関わるということで、その子たちに対して学運協として認めていただきたいということで私もお願いをしました。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

小澤委員 ありがとうございます。

両角教育長職務代理者 先ほどドルパン三世の話が出たので、私も何回も見るのですけれども、劇をやって、子どもたちは大うけなのです。ところが、やった先生たち、実は担任は1人出ていなかったけれど、あとは担任が出ていますね。私は部活動で、バスケットを行っているのだけれども、終わると必ず1年、2年、3年の担任が体育館の前へ集まるのです。集まっている話をするのです。そうすると、皆スポーツをやっている若い先生たちです。若くもない人もいますが、スポーツをやっている先生たちだから、決してまあまあとかで済まされない学校生活。だから、ちょっとあれを許してはいけないよとか、そういう厳しいところをきちんと持った先生たちなので、先生たちに注意されたり、お叱りもあつたりとか、いろいろすると思うのですけれども、その先生たちがあの演劇を、ばかなことをやってみんなを笑わせるという、そういう両面性を子どもに見せるというのは、私はすごくいいと思うのです。ふだん厳しい先生は、いつでも厳しいのではなくて、厳しい先生が、何あれは、というくらいで、笑われてしまうというか、そういうことをやるから、子どもたちは先生に近寄っていくのですね。だけれども、近寄るけれども、きちんとするところはしろよと言われるから、言うことを聞くという。

だから、吹奏楽も人数は少ないのだけれども、少ない人数という感じではとてもないような、30人くらいで演奏しているような感じの盛り上がりがあるのです。それで、親も見ている生徒たちも、タオルを振れと言って飛び上がってタオルを振るのです。本当に全員ですよ。だからそういうことができる雰囲気をきちんと持っているというところが非常にいいのではないかなと。大分少なくなってきたから、あそこまでできると思わなかったので、感動して帰ってきました。

赤羽教育長 続いてどうですか。

小松委員 先日、両小野学園のことについて、岩下さんから、集まってお話を伺ったのですが、この何年間の教育委員の人たちは一体何をしていたのだと。両小野学園としての進歩というか、止まったきりで、全く歩みが見られないような感じにおっしやられていまして、組合として大変難しい立ち位置にこの学園があると。小学校と中学校がまるで別のものであるのを何とか一緒にさせようとする。そのために両小野学園というものが生まれてきたのだ

と思いますけれども、そのまま止まったままではないかというような感じのお叱りの言葉が言われていましたけれども、この先のことを考えると、1つでも2つでも、例えば行事的なことにしても、両方の小学校と中学がやっていく。今回は音楽会とか、そのような形で、今度は運動会なども、例えば1年生から中学3年生までの大きな枠でできたらとか、そういう1つずつでも合同で何かができるというようなことが増えていく道を何か考えたらと思いました。

赤羽教育長 今日の総合教育会議につながるお話かなと思って、ありがとうございました。竹澤委員、一言いいですか。

竹澤委員 私も霧訪祭は一昨日見に行ってきました。私は午前中の運動会を少しと、あとは展示を見たのですが、運動会もきつと、想像ですけど、生徒会を中心に自分たちでこういう内容でやろうと決めてやったと思うのです。みんなで盛り上げようとしているのがすごく伝わってきて、自分たちで企画して自分たちでいろいろやるというのは、すごく成長するのだらうなと思って、見て、感動して帰ってきました。

赤羽教育長 どうもありがとうございました。富田校長、とてもうれしいと思います。

富田両小野中学校長 ありがとうございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。

それでは皆さん、ほかによろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、その他、事務局で何かありましたらお願いします。

瀧沢学校教育課教育企画係主事 次回の教育委員会は、令和7年3月25日火曜日を予定しております。2月下旬に開催通知を発送いたしますので、委員の皆様の御出席をお願いいたします。以上です。

6 閉会

赤羽教育長 ありがとうございました。以上をもちまして、本日の教育委員会を閉会といたします。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

○ 午後13時45分に閉会する。

以上

塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議規則第 17 条第 2 項の規定により署名する。

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員
学校教育課教育企画係
